



みんなの文芸

俳句

ことぶき俳句会

万歩計休ませている冬母
 去る鳥か戻りし鳥か日脚伸ぶ
 クロツカス置いて北に引つ越しぬ
 雪の庭ペットボトルの風くるま
 ビル風や伏し目に歩くおとこたち
 磨かれし廊下が知ってる春廃校
 街路樹の裸はさむいが今すこし
 換気口にすずめの四畳半こぼれ雪

稲田 文江
 大山みどり
 越坂 順子
 長谷川アキ
 福原 仁子
 松尾枝実子
 渡邊 道
 高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

ほのぼのと年輪刻んで長い坂
 除雪機に操られてる二月かな
 自慢げに話す言葉の裏をよむ
 Cメール仏から来た誘い水
 パズル解くさびつく脳に喝を入れ
 ごますりを集め日本の有識者

阿部 麗紅
 柴田 弘子
 星 愛子
 加藤 未貴
 橋本 葉子
 山村 幹雄

川柳

上浦幌句の会

消費税重い心で今年から
 核のない平和を祈る日本か
 バスを待つ冷たい風の冬の朝
 雪が降り車輪の跡を一步ずつ
 新年に娘等あつまりて嬉しかり
 新年にかえれぬ娘にと餅送る
 集い来る嬉しい悲鳴のひ孫七人

高橋 幹雄
 笹島カヨ子
 河村みよ子
 芳川 乙美

短歌

心友愛会

何事も経験してみなければ
 心の底より気づけない事
 心友会皆んな元気で今年こそ
 一人も欠けず楽しく過ごそう
 春が来る思っていたら雪の山
 明日も雪かと夜空をながめ
 年明けて気持ち切り替えすつきりと
 薬より良く効く心身共に

前川 静江
 小川 房子
 堀井あやの
 富田さた子

一日が長く感じる私です
 仲間と会えるその日楽しみ
 根となりて蘇る人いればこそ
 命の寛をば結ぶものなり
 母は逝き子等も来ずして淋しさが
 一人暮らしの食を求めて
 久しぶり子と買物帯広へ
 セーター一枚買いいし娘は
 雪かきで腰痛めて伏せりがち
 出かける勇氣我は無くして
 枯れ枝につもりし雪にスズメ来て
 木の実の如く身揺る朝あけ
 屋根の雪解けて水音リズムとり
 靴下編みあげホツと一息
 万華鏡のぞく子供にアドバイス
 回してごらんいやそうじゃなく
 気が付けば我が子等の年も五十路にて
 シワや白髪の間と比べて
 陽光が冴えさえと峰を染めていく
 地吹雪の舞う野山も染めて

小澤 つや
 長屋美代子
 山久保敬子
 角田美代子
 千葉 光江
 山岸 明美
 浅野 京子
 杉山 未樹
 佐藤 成子
 星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、浦幌中学校卒業証書授与式後のひとコマです。時には厳しく、時には優しく、自分達をけん引してくれた先輩たち……。離れる淋しさを振り払うように、後輩たちは卒業生の新たな門出を手荒く祝福していました。

■両親、恩師、後輩たち：多くの人達の祝福を受け、卒業する生徒たち。皆さん卒業おめでとうございます。これからも勉強に遊びに、青春を謳歌してください。

■東日本大震災が発生してから3年が経ちました。犠牲となられた方々に改めて哀悼の意を表します。

■復興はまだ半ば……。3年が経過しても、まだ、故郷に戻れない人が大勢います。一日でも早く戻るよう、これからも被災された方への出来る限りの支援をよろしくお願いします。

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族、お気軽にご連絡ください)。